

分担金・拠出金の名称	太平洋経済協力会議(PECC)拠出金	評価	C
拠出先の国際機関名	太平洋経済協力会議(PECC)		
国際機関の概要	PECCは、アジア太平洋地域の経済協力及び安定、繁栄及び進捗、並びに同国・地域の経済社会的福祉の促進を目的として、産業界・官界・学界の三者により組織された機関。24カ国・地域が参加メンバー(含:準加盟)となっており、APECの公式オブザーバーとしてのステイタスが付与されている。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
(1) 成果目標:日本を含めたアジア太平洋地域の産業界・官界・学界の知見を以って、地域の経済協力、繁栄、経済社会的福祉等を促進し、日本の経済と企業活動の発展に貢献する。 活動指標:PECC国際総会の開催、PECC日本委員会総会の開催、AP-EC閣僚会議に対する提言		アジア太平洋地域は日本経済の成長と企業活動にとって最も重要地域。PECCでは、毎年開催される国際総会の場で、日本を含むアジア太平洋地域の産業界・官界・学界の知見を集約し、地域の経済協力促進のための調査研究やAPECへの提言等の議論や活動報告を行っている。特にAPECとの関係では、公式オブザーバーとして、地域の自由貿易や成長を促進すべく、毎年閣僚会議への有意義な提言を行っており、日本の経済や企業活動の発展に資するものも少なからず含まれている。 また、我が国においては、PECC国内委員会として、産・官・学の各界の有力者80名程度から構成される日本委員会が存在しており、毎年総会を開催して委員の意見の集約・取り纏めを行い、国際総会の議論への日本の立場と意見が反映されるよう努めている。 具体的には、日本は社会の強靱性リサーチプロジェクト(SRRP)やPECCの研究活動の柱となっている地域における経済と経済統合の現状と展望に関する分析を纏めた報告書「State of the Region」の発刊を主導しており、これらの研究結果は地域の経済協力、繁栄、経済社会的福祉等の促進を通じて、日本の経済と企業活動の発展に貢献している。	
(2) 成果目標:PECCにおける我が国の発言力・影響力を確保する 活動指標:PECC日本委員会と同委員長の影響力の維持		PECCは、日豪のリーダーシップの下に発足した経緯があり、参加国・地域からの我が国への期待も大きい。PECCは、24ヶ国・地域のメンバーで構成されており、各メンバーの代表が年1回常任委員会の場でPECCの政策の方向性、声明及び立場等について議論しているが、そのうち、11ヶ国・地域のメンバーの代表がプロジェクトの選定・提案、事業計画の評価・調整等のPECC諸活動を担う「執行委員」として選ばれており、PECC日本委員会の委員長は同委員をPECC発足当初から継続して務めている。 また、PECCのプロジェクト予算を用いて実施されている経済と経済統合の現状と展望に関する分析を纏めた報告書「State of the Region」の発刊を主導している。これらのPECCプロジェクトを通じて、地域の経済協力、繁栄、経済社会的福祉等の促進に寄与している。	
(3) 成果目標:産業界・官界・学界の知見を以って、アジア太平洋地域における経済協力、繁栄、経済社会的福祉の促進等に関するプロジェクトを実施する。また、PECCが適切な組織・マネジメントを行う。 活動指標:PECCのプロジェクト管理能力、PECCの財政マネジメント向上努力		PECC予算を用いて実施されるプロジェクトは、PECCの常任委員会において厳正な審査の上で承認され、また、実施中のプロジェクトは、常任委員会において中間報告／最終報告が義務付けられており、常任委員会が必要に応じて改善を提言している。 また、PECCは毎年外部監査機関により会計監査を行い、その結果は常任委員会に報告されるとともに、参加メンバーにも共有する等、組織・財政マネジメント強化に努めている。 なお、PECCにおいては、現在、参加メンバーの分担率見直の議論が行われおり、我が国も議論に積極的に参画している。	
(4) 成果目標:PECCにおける邦人のプレゼンスを維持強化する 活動指標:PECC執行委員会のポスト確保		PECCには事務総長以下4名の職員で構成される国際事務局(於:シンガポール)が存在。日本人職員は同事務局には存在しないが、実質的には、事務局はPECCの会議開催補助等の準備・支援や事務を担当しており、プロジェクトの提案や作業計画の調整及びPECCの運営方針等は、常任委員会が推薦・承認する11人の委員から成る「執行委員会」において決定されている。日本委員会の委員長は、同委員会創設以来、同委員会の委員を務めており、今後も同ポストを維持する。	
2. PDCAサイクルの確保		PECCにおいては、以下のとおりPDCAを確保。 ①計画段階(Plan):常任委員会において、PECC事務局が提出する予算計画を精査・議論し、我が国拠出額の予算要求を実施。②実施段階(Do):義務的拠出金として予算拠出。③評価段階(Check):常任委員会に対するPECC事務局からの報告を通じて、PECC事務局の活動をモニタリング。④フォローアップ(Act):常任委員会において、必要に応じて改善を提言。	
担当課・室名	経済局アジア太平洋経済協力室		